

平成 28 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 28 年 8 月 5 日に鳥類調査を実施した。この時期は繁殖期の終わりと秋の渡り期の始めにあたり、巣立った幼鳥や渡り鳥のシギ・チドリ類が確認された。天気は晴れ～曇りで、気温 30.5～34.2℃、南寄りの風が 1.0～5.0m/s であった。調査当日は大潮で、干潮が 12 時 30 分(30cm)、満潮は 18 時 48 分(198cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	13:20-14:35	10:17-11:03	11:25-12:09
天候	晴れ	曇り	晴れ
気温(℃)	33.0	30.5	34.2
風向	南	南	南
風速(m/sec)	1.0	3.5	5.0
備考	上げ潮時に調査を行った。チョウゲンボウが低空を飛翔していた。	公園側の海岸には観光や磯遊びの人が見られた。	干潟が広く干出していた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった 鳥類上位 2 種	カワウ(638 羽) ウミネコ(580 羽)	カワウ(509 羽) アオサギ(22 羽)	ウミネコ(128 羽) カワウ(95 羽)
その他の 鳥類	カルガモ、スズガモ、サギ類(アオサギ、ダイサギ等)、バン、シギ・チドリ類(シロチドリ、メダイチドリ等)、オオセグロカモメ、大型カモメ、ハクセキレイなど。	カルガモ、ダイサギ、コサギ、キアシシギ、イソシギ、ウミネコ、ハクセキレイ。	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、イソシギ、キョウジョシギ、大型カモメ、ハクセキレイ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・汀線際や干潟ではサギ類、シギ・チドリ類が採食。 ・カルガモ、スズガモ、カワウ、サギ類、カモメ類が休息。 ・調査範囲外の沖側にも干潟が広く干出し、カワウが休息。 ・重要種として、11 種を確認(スズガモ、ダイサギ、コサギ、バン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、キアシシギ、イソシギ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第六台場ではカワウやサギ類の営巣は終盤を迎え、個体数は減少。 ・海浜公園側の護岸や干潟ではカワウとアオサギの巣立った幼鳥を確認。 ・護岸ではキアシシギ、イソシギが採食。 ・重要種として、4 種を確認(ダイサギ、コサギ、キアシシギ、イソシギ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・干潟や護岸ではサギ類、シギ・チドリ類が採食。 ・干潟ではカワウ、カモメ類が休息。 ・重要種として、5 種を確認(ダイサギ、コサギ、シロチドリ、イソシギ、キョウジョシギ)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種名	5月			6月			8月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財*1 保護法	種*2 保存法	環境省*3 RL 2012 鳥類	東京都*4 RL 2010 (区)
1	カモ	カモ	マガモ	3												
2			カルガモ	10	6	16	3	3	13	10	4	14				
3			スズガモ				10			7						留
4	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	8												留
5	カツオドリ	ウ	カワウ	93	516	10	1236	1099	19	638	509	95				
6	ペリカン	サギ	ゴイサギ		2			1								
7			ササゴイ						2							CR
8			アオサギ	5	25	3	28	53	13	17	22	11				
9			ダイサギ	4	5		10	8		18	16	15				VU
10			コサギ	13	20	3	12	171	4	16	10	11				VU
11	ツル	クイナ	バン							1						VU
12	チドリ	チドリ	ムナグロ	4												VU
13			ダイゼン	2												VU
14			コチドリ			2	3		2	1						VU
15			シロチドリ			3			5	68		1				VU
16			メダイチドリ							4						NT
17		ミヤコドリ	ミヤコドリ	43												EN
18		シギ	チュウシャクシギ	2	3	2										VU
19			ダイシャクシギ	2			1			2						CR
20			ホウロクシギ	1			1			1						VU
21			アオアシシギ	7												NT
22			キアシシギ	7	15	5				1	2					VU
23			イソシギ	2	1	3	1	3	2	1	4	2				VU
24			キョウジョシギ	22	53	73						1				VU
25			オバンシギ	6												EN
26			ミユビシギ	7												EN
27			トウネン	15												NT
28			ハマシギ	359												NT
29		カモメ	ユリカモメ	727	32	8										
30			ウミネコ	6		2	171		2	580	4	128				
31			セグロカモメ	6												
32			オオセグロカモメ				8			6						
			大型カモメ ^A	3			11			9		7				
33			コアシサン	15	14	152	1		101					国際	VU	EN
34			アジサシ	81	1											
35	タカ	ミサゴ	ミサゴ			1										NT
36	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ			1										VU
37	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	1	2				2	2	3	5	4			
計 9目12科37種				27種	14種	15種	13種	8種	11種	17種	9種	10種	0種	1種	5種	26種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

A:大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数には数えない。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

*3環境省レッドリスト: VU:絶滅危惧II類,NT:準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課, 2012年, 環境省第4次レッドリスト。

*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧IA類,EN:絶滅危惧IB類,VU:絶滅危惧II類,NT:準絶滅危惧,留:留意種

東京都環境局自然環境部, 2010年, 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~2010年版。

＜葛西人工渚＞

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



西側調査地点から南西方向を見る



○出現種（カワウ、アオサギ）

葛西人工渚で最も個体数が多かった2種。カワウは汀線付近で休息していた。アオサギは汀線付近や干潟で休息や採食をしていた。調査範囲外の沖にも干潟が干出しており、そこにも多数のカワウが休息していた。



○出現種（コチドリ）

干潟で採食していた。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。春から秋まで見られる夏鳥で、日本で繁殖する。写真の個体は今年生まれの幼鳥。成鳥と比べて顔が全体的に褐色。



○出現種（ホウロクシギ）

干潟で採食していた。環境省レッドリスト(2012)では絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる旅鳥だが、今年は5月、6月、8月と葛西人工渚で確認されている。カニ等の甲殻類やゴカイ類などを食べる。

<お台場海浜公園>

○調査地の状況

第六台場。樹木にカワウ、サギ類が営巣している。



○出現種 (アオサギ)

第六台場の樹上で、カワウ、ダイサギ、コサギなどと共に営巣していた。写真の個体は幼鳥。成鳥と比べて頭から首が灰色で嘴も灰色みがある（成鳥の嘴はオレンジ色か黄色）。



○出現種 (カワウ)

第六台場や鳥の島の樹上で繁殖しており、繁殖を終えた成鳥や、巣立った幼鳥が護岸などで休息していた。幼鳥の羽色はくすんだ茶色で、成鳥は黒い。



○出現種 (キアシシギ)

干出した護岸で採食や休息をしていた。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる。この時期は秋の渡りの初期であり、東南アジアやオーストラリアなどの越冬地へ向かう途中の個体が見られる。カニなどの甲殻類を食べる。

＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



○出現種（アオサギ、ダイサギ、コサギ）

干出した干潟や護岸で休息や採食していた。ダイサギとコサギは東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種（キョウジョシギ）

護岸で採食していた。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる。東南アジアやオーストラリアなどの越冬地へ向かう途中の個体が見られる。

○出現種（ウミネコ）

干潟で休息している個体が多かった。親鳥の後をついてまわる幼鳥も確認した。



<その他>

○ウミネコの繁殖

平成 28 年 5 月 10 日、6 月 24 日の調査でウミネコの繁殖を確認した構造物上では、休息している成鳥 8 羽のみを確認し、幼鳥は巣立ちしていた。



ウミネコの繁殖を確認した構造物